

# 学習・情報センターの取り組み

安城市立安城西部小学校

## 1. 本校の学校図書館の環境

- ・学校司書が月・火・木の週に3日勤務しています。授業で使う本の選定や本の活用についての指導補助、学校図書館の環境整備を行っています。
- ・図書情報館（市の図書館）とも連携し、調べ学習などで必要な資料があれば、取り寄せて借りることができます。
- ・全学年、4月にオリエンテーションを行い、学校図書館の使い方や索引や目次などの図書資料の使い方を学校司書から教えてもらいます。

## 2. 国語科の授業での学校図書館の活用

児童には一人一台、学習用タブレットが配付されており、調べ学習では多くの学年がこのタブレットを利用しています。しかし、インターネットで得られる情報は低学年の児童にとっては難しい語彙や漢字などが出てくることが多く、担任に意味や読みを確認しながら学習を進める児童が多くいました。また、情報量も多く、自分が必要としている情報になかなかたどり着くことができず、学習意欲が下がってしまう児童もいました。

そこで、今回の実践では、児童向けの図書資料を中心に調べ学習を行いました。

事前準備として、学校図書館の動物に関する図書資料を学校司書に選定してもらい、ブックトラックに載せて授業中にいつでも閲覧できるようにしました。学校図書館の図書資料だけでは数が少なかったため、図書情報館のテーマ使も利用し、一人一冊は図書資料がある環境を作りました。

児童は、本での調べ学習を行う前に索引や目次の使い方を再度確認し、動物に関する図書資料から動物の生きるための知恵を探し、分かったことをまとめました。

図書資料では、児童向けに易しい言葉が使われていたり、漢字にはふりがながふられていたりと分かりやすくなっているため、児童は自分の力で学習を進めることができました。

自分の調べたい動物を探すときに索引からその動物の名前を探して該当のページを見ることができたので、児童は必要な情報を探しやすくなっていました。



一人一冊の資料を使って、調べ学習する児童

## 3 成果

図書資料を使って調べ学習を行うことで、児童は必要な情報が調べやすく、分かりやすくなり、学習に積極的に取り組んでいました。担任も漢字の読みや意味について質問に答える時間が減り、資料の選定に悩んでいる児童の支援を行ったり、資料の活用について補助をしたりと学習活動の支援を行うことができました。

また、学校図書館の資料と図書情報館の資料の2種類を用意したことで、同じ動物について調べても様々な視点からの情報を得ることができ、児童は複数の資料を比べながら自分に必要な情報を探ることができました。